

除草剤 芝用

 ターディアン®
粒剤

根にやさしく長く効く
グリーン周りのスズメノカタビラ対策

登録商標 第6837905号



除草効果について

除草剤 芝用

農林水産省登録 第24951号

作用機構

クロロフィルの生合成を阻害し、
光の存在下で活性酸素を発生。
細胞膜の過酸化損傷を引き起こす

有効成分

オキサジアゾン

阻害点

プロトポルフィリノーゲン酸化酵素(PPO)阻害

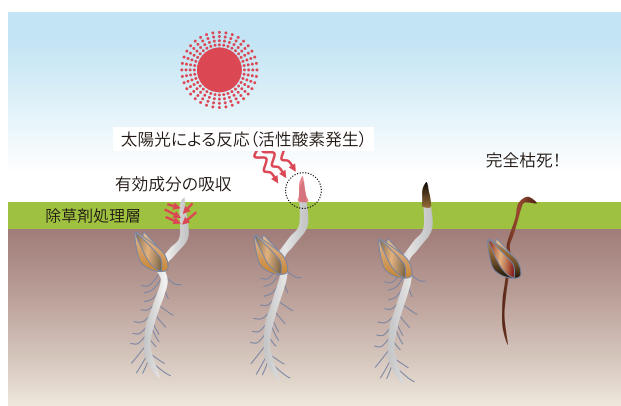
グループ名

N-フェニルオキサジアゾロン

出典：HARCコード 2025.2

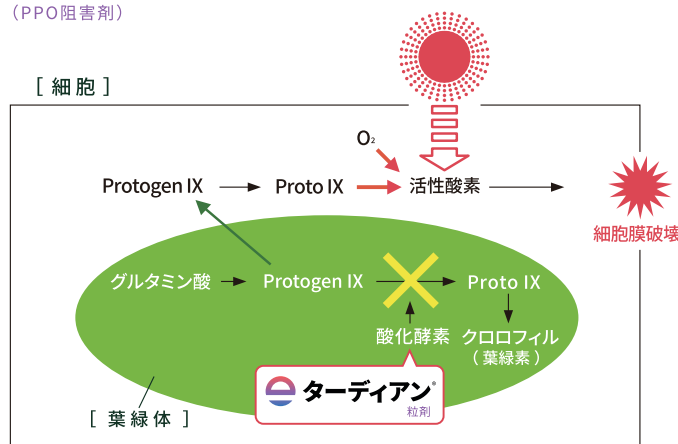
ターディアン粒剤の効果発現

土壌処理の場合



ターディアン粒剤の作用性

(PPO阻害剤)

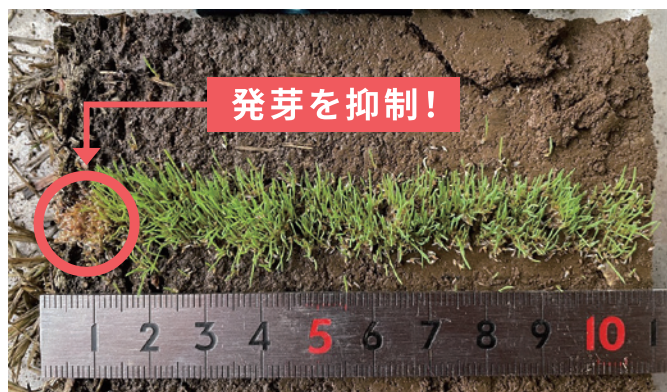


- ・クロロフィル合成経路を阻害します
- ・光の存在下で、活性酸素を発生させ、細胞膜の過酸化損傷を引き起こします→細胞枯死

長期残効の安定した効果を確認(散布169日後)

試験区の概要

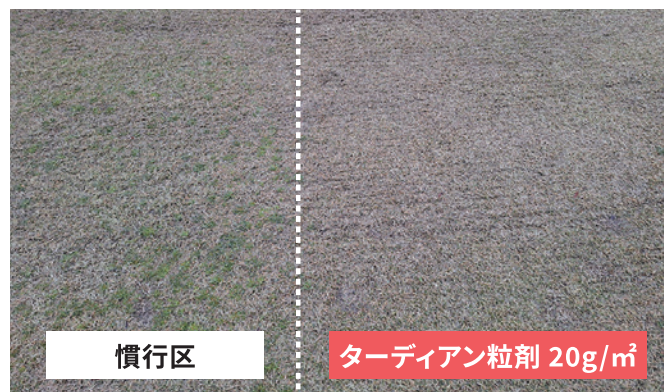
試験場所： 関東地方Aゴルフ場
ノシバ圃場
散布日： 2023年9月6日
試験薬剤： ターディアン粒剤
散布量： 20g/m²
試験区： 1区10m²
採取日： 2024年2月22日
(散布169日後)
撮影日： 2024年3月5日



スズメノカタビラに対する防除効果

試験区の概要

試験場所： 関東地方Bゴルフ場
グリーン周り
散布日： 2024年10月2日
調査日： 2025年3月20日(散布169日後)



散布方法について

ドロップシーダー



サイクロン



粒剤は均一散布が効果安定と薬害リスク減に最も重要です

● 事前準備のポイント

ドロップシーダーで散布する場合

ウォーキングメジャーにてグリーンの約1m外周を測定する。
ドロップシーダーの幅と測定した長さを掛けて面積を算出する

サイクロンで散布する場合

グリーンの約2m（想定している散布幅）外周を測定する。
想定している散布幅と測定した長さを掛けて面積を算出する



面積 = 外周の測定値 × ドロップシーダー / サイクロンの幅

実際に散布する際のポイント

- ◎ドロップシーダーの場合、グリーンエッジとの合わせに注意する。
タイヤではなく、バケットの端をグリーンエッジに合わせる
- ◎2-3周して全量を撒ききるように目盛りを調整する
- ◎1周目から2周目にいくときにバケットを開閉せず、そのまま撒き続ける（開閉するときに多量に落ちてしまうため）
- ◎グリーンの中に入ってしまった粒剤はブローで吹き飛ばす
（風力が強すぎるとグリーン外周部分の粒剤も飛ばしてしまうので注意）

安全に使用するために

均一に散布することが最も重要です。気温や散布時間帯にも注意



30℃未満

散布時及び散布後の最高気温は
30℃を下回る時期に使用して下さい

除草効果の安定と薬害リスクの軽減の
傾向がみられています



15時以降

15時以降に散布して下さい

散布後の日射量に比例して、薬害リスクが高まります。
また芝の葉面が乾燥しているため、粒が土壌まで
落ちやすくなります。さらに早朝の散布は朝露が
発生しているため薬害リスクが高まります

こんなときは？



Q 日本芝に薬害が発生した



A 日本芝の薬害(葉焼け)は2~3週間程度で
回復します



Q ベントグリーン内に入った粒剤が入った



A 速やかにブローで吹き飛ばせば
薬害リスクは大幅に軽減します



動画はコチラ



薬害症状の事例

夏期高温時の散布



ブチ状の薬害症状



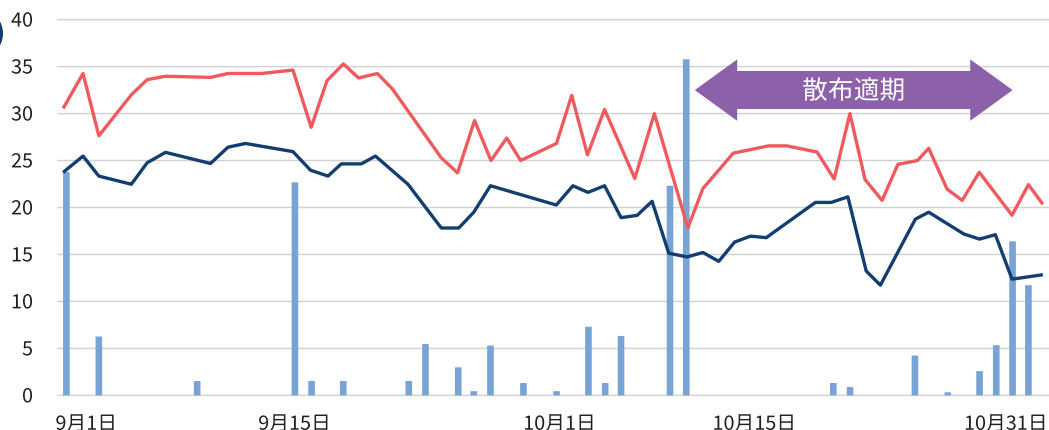
ブチ状の薬害症状(近接)



散布タイミング

2024年9~10月 東京の気象データより

最高気温 /
最低気温 (℃)



降水量
最高気温
最低気温

適用雑草及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	オキサジアゾンを含む 農薬の総使用回数
日本芝	一年生雑草	芝生育期 雑草発生前	15～25g/m ²	2回	全面土壌散布	2回

ターディアン粒剤とは

種類名	オキサジアゾン粒剤
有効成分	オキサジアゾン(化管法1種)…2.4%
作用機構	プロトポルフィリノーゲン酸化酵素 (PPO) 阻害
性状	類白色～淡褐色細粒
荷姿	3.5kg×8袋

人畜・水産動物に対する安全性(製剤)

急性毒性 普通物*	経口	ラット	LD ₅₀ >5,000mg/kg
	経皮	ウサギ	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
水産動植物に 対する影響	ニジマス		LC ₅₀ 1.2mg/L (96h)
	オオミジンコ		EC ₅₀ 2.4mg/L (48h)
	淡水性緑藻		ErC ₅₀ 0.0056mg/L (72h)

*「毒物および劇物取締法」に基づく毒劇物の指定を受けない物質を示す

⚠ 効果・薬害等の注意

- 一年生雑草の発生前に有効なので、時期を失しないように均一に散布してください
- 降雨や朝露などで日本芝の葉上に水滴がある場合は、薬害を助長するので使用しないでください
- 一時的に黄変や褐変などを生じることがあるが、2～3週間で回復し、その後の生育に影響を与えません
- 薬害を生じるおそれがあるので寒地型西洋芝を使用しているグリーンやティーグラウンドに飛散しないように注意してください
- 開封した容器は密封し出来るだけ早く使い切ってください
- 使用量、使用時期、使用方法を守ってください。特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです

- 皮ふに付着しないように注意してください。皮ふに付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください(刺激性)
- 散布時は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください
- 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせないでください。小児、人畜などに留意してください

水産動植物の被害防止等に関する注意事項

- 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください(魚類、藻類)。

⚠ 安全にお使いいただくために

- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください(刺激性)

⚠ 貯蔵上の注意事項

- 直射日光をさけ、食品と区別して冷凍な所に密封して保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



エンバイロサイエンスジャパン株式会社

〒100-0004

東京都千代田区大手町 1-6-1

www.jp.envu.com



お問い合わせ先